

注3

大学番号：私234

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

大阪電気通信大学 総合情報学部 ゲーム&メディア学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大阪電気通信大学

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名	局長	シオタ 塩田	クニナリ 邦成
	次長	ハヤシ 早野	ヒデキ 秀樹
電話番号	072-813-7586		
（夜間）	072-824-1140		
F A X	072-824-0014		
e-mail	shomu@osakac.ac.jp		

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 総合情報学部

＜ゲーム&メディア学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	26

別紙 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

添付資料① 教育開発推進センター規則

添付資料② 教育開発推進センタミッションステートメント

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 大阪電気通信大学

## (2) 大学名

大阪電気通信大学

## (3) 大学の位置

〒572-8530  
大阪府寝屋川市初町18番8号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナルセ ジュン) 成瀬 淳 (現職就任 平成26年9月)	(オオイシ トシミツ) 大石 利光 (現職就任 平成30年3月)	任期満了 (30)
学長	(オオイシ トシミツ) 大石 利光 (現職就任 平成28年4月)		
学部長	(ウオイ ヒロタカ) 魚井 宏高 (現職就任 平成27年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
総合情報学部 ゲーム&メディア学科 学士(情報学)	工学関係	4年	110人	- 年次 - 人	440	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	110人 110 ( - ) [ - ]		1.01倍						
志願者数	( ) [ ]	518 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]							
受験者数	( ) [ ]	504 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]							
合格者数	( ) [ ]	185 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]							
B 入学者数	( ) [ ]	112 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]							
入学定員超過率 B/A							1.01			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	112 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )						
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )					
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ ] ( )	112 [ 1 ] ( - )							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	112 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	112 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{112} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<総合情報学部 ゲーム&メディア学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	哲学の世界	1前		2								1
	発達心理学	1前		2								1
	人間形成と教育	1後		2								1
	現代社会と青年の心理	1後		2								1
	教育制度論	2前		2								1
	日本国憲法の理念と現実	1後		2								1
	文学の世界	1後		2								1
	政治のしくみを探究する	1後		2								1
	経済学の世界	1前		2								1
	国際コミュニケーション	2前		2								1
	日本の近代史を探究する	2後		2								1
	情報社会と情報倫理	2後		2								1
	科学の世界	2前		2								1
	数理の世界	2後		2								1
	基礎英語1	1前		1								5
	基礎英語2	1後		1								5
	英語リーディング1	1前		1								3
	英語リーディング2	1後		1								3
	英語リーディング3	2前		1								2
	英語リーディング4	2後		1								2
	英語スキルアップセミナー1	3前		1								3
	英語スキルアップセミナー2	3後		1								3
	英語コミュニケーション1	2前		1								2
	英語コミュニケーション2	2後		1								2
	英語コミュニケーション3	3前		1								1
	英語コミュニケーション4	3後		1								1
	英文法セミナー	1前		1								1
	中国語1	1前		1				1				1
	中国語2	1後		1				1				1
	ドイツ語1	1前		1					2			2
	ドイツ語2	1後		1					2			2
	日本語1	1前		1				1				1
	日本語2	1後		1				1				1
	日本語3	1前		1				1				1
	日本語4	1後		1				1				1
	健康・スポーツ科学論	2前		2								1
	スポーツ文化論	2後		2								1
	スポーツ実習1	1前		1						2		2
	スポーツ実習2	1後		1						3		3
	スポーツ実習3	3後		1						1		1
スポーツ実習4	4前		1						1		1	
大学とその学び	1前	1				1					1	
キャリアと学び	2前	1									1	
キャリア実践	3通	1				1					1	
インターンシップ	3後		2			1					1	
社会ボランティア実践	2通		2								1	
仕事と生活	1後		2								1	
コンピュータリテラシー	1前		2			1					1	
メディア芸術文化論	1後		2		1						1	
メディアリテラシー	1後		2			1					1	
知的財産権入門	2後		2								1	
文字の文化と歴史	2後		2								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	哲学の世界	1前		2								1
	発達心理学	1前		2								1
	人間形成と教育	1後		2								1
	現代社会と青年の心理	1後		2								1
	教育制度論	2前		2								1
	日本国憲法の理念と現実	1後		2								1
	文学の世界	1後		2								1
	政治のしくみを探究する	1後		2								1
	経済学の世界	1後		2								1
	国際コミュニケーション	2前		2								1
	日本の近代史を探究する	2後		2								1
	情報社会と情報倫理	2後		2								1
	科学の世界	2前		2								1
	数理の世界	2後		2								1
	基礎英語1	1前		1								6
	基礎英語2	1後		1								6
	英語リーディング1	1前		1								3
	英語リーディング2	1後		1								3
	英語リーディング3	2前		1								2
	英語リーディング4	2後		1								2
	英語スキルアップセミナー1	3前		1								3
	英語スキルアップセミナー2	3後		1								3
	英語コミュニケーション1	2前		1								2
	英語コミュニケーション2	2後		1								2
	英語コミュニケーション3	3前		1								1
	英語コミュニケーション4	3後		1								1
	英文法セミナー	1前		1								1
	中国語1	1前		1				1				1
	中国語2	1後		1				1				1
	ドイツ語1	1前		1								1
	ドイツ語2	1後		1								1
	日本語1	1前		1				1				1
	日本語2	1後		1				1				1
	日本語3	1前		1				1				1
	日本語4	1後		1				1				1
	健康・スポーツ科学論	2前		2								1
	スポーツ文化論	2後		2								1
	スポーツ実習1	1前		1								3
	スポーツ実習2	1後		1								3
	スポーツ実習3	3後		1								1
スポーツ実習4	4前		1								1	
大学とその学び	1前	1				1					1	
キャリアと学び	2前	1									1	
キャリア実践	3通	1				1					1	
インターンシップ	3後		2			1					1	
社会ボランティア実践	2通		2								1	
仕事と生活	1後		2				1				1	
コンピュータリテラシー	1前		2			1					1	
メディア芸術文化論	1前		2				1				1	
メディアリテラシー	1後		2				1				1	
知的財産権入門	2後		2								1	
文字の文化と歴史	2後		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	高齢社会と医療福祉	2後	2								2
	今日の医療医学の課題	2後	2								1
専門科目	コンピュータグラフィックス基礎論	1前	2								1
	グラフィックデザイン・実習1	1後	2		1	1					
	グラフィックデザイン実習2	2前	2			1					
	3Dグラフィックス・実習1	2前	2								1
	3Dグラフィックス実習2	2後	2								1
	Webデザイン・演習1	3前	4				1				
	Webデザイン演習2	3後	2				1				
	キャラクターデザイン・実習	3後	2		1						
	VRグラフィックス演習	4前	4								1
	デザイン基礎実習	1前	2			1					1
	映像・映画概論	1前	2			1					
	デッサンの基礎・実習	1後	2								2
	映像設計	1後	2			1					
	映像制作基礎演習	2前	2								1
	デッサン実習	2前	2								2
	表現実習1	2後	2		1	1					1
	映像制作実習	3前	2			1					1
	アドバンスデザイン・実習	3前	2			1					
	UI・UXデザイン	3前	2			1					
	コマーシャルデザイン	3前	2								1
	映像シナリオ	3前	2			1					
	映像音響論・実習	3前	2			1					
	メディアアート・演習	3後	2								1
	表現実習2	3後	2								2
	イラストレーション・実習	3後	2				1				
	エディトリアルデザイン・演習	3後	2			1					
	3D造形・実習	3後	2				1				1
	コスチュームデザイン	4前	2								1
	アニメーション概論	1前	2								1
	アニメーション技法	1後	2								1
	2DCGアニメーション・実習1	2前	2				1				
	2DCGアニメーション実習2	2後	2								1
	3DCGアニメーション・実習1	2後	2								1
	3DCGアニメーション実習2	3前	2								1
	モーションプログラミング演習	3後	4								1
	3DCGアニメーション実習3	4前	2								1
	ゲーム学	1前	2								1
	ゲーム制作入門実習	1前	2								1
	知的所有権	1後	2								1
	インタラクティブメディア概論	1後	2								1
	ゲームシナリオ	2前	2								1
	ゲーム評価法・演習	2後	2								1
ゲームデザイン	2後	2								1	
シリアスゲーム論	3前	2								1	
ゲームと教育	3前	2				1					
ゲームの心理学	1前	2								1	
社会学概論	2前	2								1	
認知科学	2後	2								1	
情報通信論	2前	2								1	
データベース概論・演習	3後	2								1	
情報セキュリティ	3後	2								1	
オブジェクト指向プログラミング入門・実習	1前	2				1				1	
スクリプトプログラミング入門・実習	1前	2								1	
オブジェクト指向プログラミング・実習	1後	2								1	
アルゴリズム基礎論	1後	2								1	
スクリプトプログラミング演習1	2前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	高齢社会と医療福祉	2後	2								2
	今日の医療医学の課題	2後	2								1
専門科目	コンピュータグラフィックス基礎論	1前	2								1
	グラフィックデザイン・実習1	1後	2					1			
	グラフィックデザイン実習2	2前	2					1			
	3Dグラフィックス・実習1	2前	2								1
	3Dグラフィックス実習2	2後	2								1
	Webデザイン・演習1	3前	4								
	Webデザイン演習2	3後	2					1			
	キャラクターデザイン・実習	3後	2				1				
	VRグラフィックス演習	4前	4								1
	デザイン基礎実習	1前	2					1			1
	映像・映画概論	1前	2								1
	デッサンの基礎・実習	1後	2								2
	映像設計	1後	2								1
	映像制作基礎演習	2前	2								1
	デッサン実習	2前	2								2
	表現実習1	2後	2				1	1			1
	映像制作実習	3前	2					1			1
	アドバンスデザイン・実習	3前	2				1				
	UI・UXデザイン	3前	2				1				
	コマーシャルデザイン	3前	2								1
	映像シナリオ	3前	2				1				
	映像音響論・実習	3前	2				1				
	メディアアート・演習	3後	2								1
	表現実習2	3後	2								2
	イラストレーション・実習	3後	2					1			
	エディトリアルデザイン・演習	3後	2				1				
	3D造形・実習	3後	2					1			1
	コスチュームデザイン	4前	2								1
	アニメーション概論	1前	2								1
	アニメーション技法	1後	2								1
	2DCGアニメーション・実習1	2前	2						1		
	2DCGアニメーション実習2	2後	2								1
	3DCGアニメーション・実習1	2後	2								1
	3DCGアニメーション実習2	3前	2								1
	モーションプログラミング演習	3後	4								1
	3DCGアニメーション実習3	4前	2								1
	ゲーム学	1前	2								1
	ゲーム制作入門実習	1前	2								1
	知的所有権	1後	2								1
	インタラクティブメディア概論	1後	2								1
	ゲームシナリオ	2前	2								1
	ゲーム評価法・演習	2後	2								1
ゲームデザイン	2後	2								1	
シリアスゲーム論	3前	2								1	
ゲームと教育	3前	2						1			
ゲームの心理学	1前	2								1	
社会学概論	2前	2								1	
認知科学	2後	2								1	
情報通信論	2前	2								1	
データベース概論・演習	3後	2								1	
情報セキュリティ	3後	2								1	
オブジェクト指向プログラミング入門・実習	1前	2						1		1	
スクリプトプログラミング入門・実習	1前	2								1	
オブジェクト指向プログラミング・実習	1後	2								1	
アルゴリズム基礎論	1後	2								1	
スクリプトプログラミング演習1	2前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	オブジェクト指向ソフトウェア開発	2後	2								1	
	3Dゲームプログラミング・実習	2後	2								1	
	チーム開発技法	2後	2								1	
	スクリプトプログラミング演習2	3前	2								1	
	ゲーム開発実習	3前	2				1					
	Webプログラミング・実習	4前	2								1	
	サウンドデザイン・実習	1後	2					1				
	音楽理論	2前	2			1						
	音楽制作・実習	2後	2			1						
	ゲームミュージック・演習	3後	2			1						
	プランニング入門・演習	1後	2			1						
	コンテンツマーケティング・演習	2前	2					1				
	コンセプトメイキング	2後	2			1						
	コンテンツマネジメント・演習	2後	2								1	
	アンケート調査法基礎	3前	2				1					
	ビジネスマネジメント論	3前	2								1	
	イベントプロデュース	3前	2								1	
	メディアプロデュース・実習	3後	2								1	
	多文化コミュニケーション	1前	2					1				
	芸術概論	1前	2			1						
	視覚表現論	1後	2								1	
	言葉のデッサン	1後	2					1				
	サブカルチャー・コミック論	2前	2			1						
	ナラティブライティング・実習	2前	2					1				
	メディア英語	2後	2								1	
	放送システム	2後	2								1	
	広報システム	3後	2			1						
	アートイベント	2後	2			1						
	アナウンス論・演習	2後	2								1	
	演劇概論	3前	2								1	
	ゲーム・メディアライブ・実習	3後	2			1	1					
	アクティブシンキング論・実習	1前	2								2	
問題解決の基礎	1前	2								1		
日本語表現法・演習	1後	2				1						
ゲーム・メディア制作特論	1後	2			1						1	
情報産業英語	2前	2								1		
コミュニケーション技法	2前	2								1		
テクニカルライティング	2前	2				1						
ビジネスコミュニケーション・演習	2後	2								1		
キャリアプランニング	2後	2								1		
プロジェクト入門・実習	1後	2			1					1		
プロジェクト実習1	2前	2			2	3				8		
プロジェクト実習2	2後	2			1	1	2			8		
社会プロジェクト実習	3通	2			4		2			7		
特別活動A	2通	2			1							
特別活動B	2通	2			1							
ゲーム制作実習	3後	2								1		
プレゼミ	3前	2			5	4	2					
ゼミナール	3後	2			5	4	2					
卒業制作	4通	8			5	4	2					
卒業研究	4通	8			5	4	2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	オブジェクト指向ソフトウェア開発	2後	2								1	
	3Dゲームプログラミング・実習	2後	2								1	
	チーム開発技法	2後	2								1	
	スクリプトプログラミング演習2	3前	2								1	
	ゲーム開発実習	3前	2					1				
	Webプログラミング・実習	4前	2								1	
	サウンドデザイン・実習	1後	2									1
	音楽理論	2前	2				1					
	音楽制作・実習	2後	2				1					
	ゲームミュージック・演習	3後	2				1					
	プランニング入門・演習	1後	2				1					
	コンテンツマーケティング・演習	2前	2						1			
	コンセプトメイキング	2後	2					1				
	コンテンツマネジメント・演習	2後	2									1
	アンケート調査法基礎	3前	2						1			
	ビジネスマネジメント論	3前	2								1	
	イベントプロデュース	3前	2								1	
	メディアプロデュース・実習	3後	2								1	
	多文化コミュニケーション	1前	2					1				
	芸術概論	1前	2					1				
	視覚表現論	1後	2									1
	言葉のデッサン	1後	2						1			
	サブカルチャー・コミック論	2前	2			1						
	ナラティブライティング・実習	2前	2					1				
	メディア英語	2後	2								1	
	放送システム	2後	2								1	
	広報システム	3後	2			1						
	アートイベント	2後	2			1						
	アナウンス論・演習	2後	2								1	
	演劇概論	3前	2								1	
	ゲーム・メディアライブ・実習	3後	2			1	1					
	アクティブシンキング論・実習	1前	2								2	
問題解決の基礎	1前	2								1		
日本語表現法・演習	1後	2				1						
ゲーム・メディア制作特論	1後	2			1						1	
情報産業英語	2前	2								1		
コミュニケーション技法	2前	2								1		
テクニカルライティング	2前	2				1						
ビジネスコミュニケーション・演習	2後	2								1		
キャリアプランニング	2後	2								1		
プロジェクト入門・実習	1後	2			1					1	2	
プロジェクト実習1	2前	2			2	3				8		
プロジェクト実習2	2後	2			1	1	2			8		
社会プロジェクト実習	3通	2			4		2			7		
特別活動A	2通	2			1							
特別活動B	2通	2			1							
ゲーム制作実習	3後	2									1	
プレゼミ	3前	2			5	4	2					
ゼミナール	3後	2			5	4	2					
卒業制作	4通	8			5	4	2					
卒業研究	4通	8			5	4	2					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目担当者の都合により、「経済学の世界」の配当年次を「1前」から「1後」へ変更。</li> <li>・きめ細かい教育を行うため、「基礎英語1」・「基礎英語2」の兼任・兼任を「5」から「6」へ変更。</li> <li>・きめ細かい教育を行うため、「英文法セミナー」の配当年次を「1前」から「1前・1後」へ変更。</li> <li>・科目担当者の昇格のため、「中国語1」・「中国語2」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「中国語1」・「中国語2」の兼任・兼任を「1」から「0」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「ドイツ語1」・「ドイツ語2」の兼任・兼任を「2」から「1」へ変更。</li> <li>・科目担当者の昇格のため、「日本語1」・「日本語2」・「日本語3」・「日本語4」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更。</li> <li>・きめ細かい教育を行うため、「スポーツ実習1」の兼任・兼任を「2」から「3」へ変更。</li> <li>・きめ細かい教育を行うため、「大学とその学び」の兼任・兼任を「0」から「1」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「仕事と生活」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「メディア芸術文化論」の配当年次を「1後」から「1前」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「メディアリテラシー」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「グラフィックデザイン・実習1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「映像・映画概論」・「映像設計」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ変更、兼任・兼任を「0」から「1」へ変更。</li> <li>・きめ細かい教育を行うため、「知的所有権」の配当年次を「1前」から「1前・1後」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「サウンドデザイン・実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」へ変更。</li> <li>・科目担当者の昇格のため、「多文化コミュニケーション」・「言葉のデッサン」・「ナラティブライティング・実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更。</li> <li>・科目担当者の都合により、「ゲーム・メディア制作特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、兼任・兼任を「0」から「1」へ変更。</li> <li>・きめ細かい教育を行うため、「プロジェクト入門・実習」の兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。</li> <li>・科目担当者の昇格のため、「プロジェクト実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」へ変更。</li> <li>・科目担当者の昇格のため、「社会プロジェクト実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更。</li> <li>・科目担当者の昇格のため、「プレゼミ」・「ゼミナール」・「卒業制作」・「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」へ変更。</li> </ul>
--

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	145 科目	0 科目	161 科目	16 科目	145 科目	0 科目	161 科目	
[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし	-	-	-	-	

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし	-	-	-	-	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{161} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	122,201.41㎡	0.00㎡	0.00㎡	122,201.41㎡			
	運動場用地	170,309.72㎡	0.00㎡	0.00㎡	170,309.72㎡			
	小 計	292,511.13㎡	0.00㎡	0.00㎡	292,511.13㎡			
	そ の 他	0.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	0.00㎡			
	合 計	292,511.13㎡	0.00㎡	0.00㎡	292,511.13㎡			
(2) 校 舎	専 用	87,745.76 <del>88,790.98</del> ㎡ (87,745.76 <del>-88,790.98</del> ㎡)	共 用 ( 0.00㎡)	共用する他の 学校等の専用 ( 0.00㎡)	計 ( 88,790.98㎡)	R号館・ホ号館取壊し 予定のため、平成30年 5月時点で使用を停止 したため(30)		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	74 <del>77</del> 室	9 <del>8</del> 室	110 <del>102</del> 室	11室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)	教室の使用・目的変更 のため(30)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	総合情報学部 ゲーム&メディア学科			11 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学生の修学状況に応 じ、図書数を調整した ため(30)
	ゲーム&メディア 学科	(29,689 [3,662]) <del>(29,033 [3,428])</del> (27,313 [3,490]) <del>(26,657 [3,256])</del>	197 [147] <del>150 [105]</del> (166 [135]) <del>(119 [93])</del>	51 [46] <del>(47 [42])</del> <del>(51 [46])</del>	1906 <del>(1,874)</del> <del>(1,846)</del>	265 ( 66 )	0 (0)	
	計	(29,689 [3,662]) <del>(29,033 [3,428])</del> (27,313 [3,490]) <del>(26,657 [3,256])</del>	197 [147] <del>150 [105]</del> (166 [135]) <del>(119 [93])</del>	51 [46] <del>(47 [42])</del> <del>(51 [46])</del>	1906 <del>(1,874)</del> <del>(1,846)</del>	265 ( 66 )	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	3,093.58㎡		426		335800			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	2,083.10㎡		テ ニ ス コ ー ト 5 面 ト レ ー ニ ン グ ル ー ム					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	726千円	726千円	図書購入費	2,364千円	2,364千円	2,364千円
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	2,326千円	2,326千円	2,326千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,525千円	1,325千円	1,325千円	1,325千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、付随事業・収益事業収入、雑収入					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	大阪電気通信大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
工学部						1.07		大阪府寝屋川市初町18番8号
電気電子工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.06	昭和36年度	
電子機械工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.10	昭和40年度	
機械工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.07	昭和50年度	※平成27年度入学定員増(10人)
基礎理工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.11	平成19年度	
環境科学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.05	平成23年度	※平成27年度入学定員減(△10人)
建築学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.17	平成30年度	
情報通信工学部						1.04		大阪府寝屋川市初町18番8号
情報工学科	4	160	-	640	学士(情報工学)	1.02	平成17年度	
通信工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.08	平成17年度	
医療福祉工学部						1.01		大阪府四條畷市清滝1130-70
医療福祉工学科	4	80	3年次5	330	学士(工学)	1.00	平成16年度	
理学療法学科	4	40	-	160	学士(理学療法学)	1.03	平成18年度	
健康スポーツ科学科	4	70	3年次5	290	学士(健康科学)	1.03	平成20年度	
総合情報学部						1.07		大阪府四條畷市清滝1130-70
デジタルゲーム学科	4	-	-	-	学士(情報学)	-	平成15年度	※平成27年度より学生定員増(100人) ※平成30年度より学生募集停止
デジタルゲーム学科	4	140	3年次5	570	学士(情報学)	1.05	平成30年度	
ゲーム&メディア学科	4	110	-	440	学士(情報学)	1.01	平成30年度	
情報学科	4	90	-	360	学士(情報学)	1.13	平成17年度	
金融経済学部						-		大阪府寝屋川市早子町12-16
資産運用学科	4	-	-	-	学士(ファイナンス)	-	平成21年度	※平成30年度より学生募集停止

大学の名称	大阪電気通信大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
工学研究科						0.10		大阪府寝屋川市初町18番8号
博士後期課程								
先端理工学専攻	3	3	-	9	博士(工学)	0.44	平成4年度	
電子通信工学専攻	3	3	-	9	博士(工学)	0.00	平成18年度	
制御機械工学専攻	3	5	-	15	博士(工学)	0.06	平成4年度	
情報工学専攻	3	5	-	15	博士(工学)	0.00	平成4年度	
工学研究科						0.33		大阪府寝屋川市初町18番8号
博士前期課程								
先端理工学専攻	2	15	-	30	修士(工学)	0.56	平成2年度	
電子通信工学専攻	2	20	-	40	修士(工学)	0.30	平成18年度	
制御機械工学専攻	2	30	-	60	修士(工学)	0.51	平成2年度	
情報工学専攻	2	35	-	70	修士(工学)	0.09	平成2年度	
総合情報学研究科						0.26		大阪府四條畷市清滝1130-70
博士後期課程								
コンピュータサイエンス専攻	3	5	-	15	博士(情報学)	0.26	平成19年度	
総合情報学研究科						0.60		大阪府四條畷市清滝1130-70
博士前期課程								
デジタルアート・アニメーション学専攻	2	10	-	20	修士(情報学)	0.20	平成16年度	
デジタルゲーム学専攻	2	10	-	20	修士(情報学)	0.65	平成17年度	
コンピュータサイエンス専攻	2	10	-	20	修士(情報学)	0.95	平成18年度	
医療福祉工学研究科						0.40		大阪府四條畷市清滝1130-70
博士後期課程								
医療福祉工学専攻	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成19年度	
医療福祉工学研究科						0.85		大阪府四條畷市清滝1130-70
博士前期課程								
医療福祉工学専攻	2	10	-	20	修士(工学)	0.85	平成17年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (平成29年6月)	留意事項等なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<総合情報学部 ゲーム&メディア学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 128単位 必修科目36単位、選択科目92単位</p>	<p>① 変更等の予定なし</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 本学における教育力の向上を目的として、教育開発推進センターを設置している。</p> <p>(添付資料① 教育開発推進センター規則) (添付資料② 教育開発推進センターミッションステートメント)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 随時、委員長と委員が議論し、柔軟かつ迅速に動いている。</p> <p>c 委員会の審議事項等 教員の資質の維持向上のためのFD活動の推進など</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学的FD(faculty development)、SD(staff development)活動の実施、推進</li> <li>・部局ごとのFD、SD活動の支援</li> <li>・教育改善に関わる先進事例情報の収集と学内への紹介、教育改善に関する研究</li> <li>・教育研究活動データベースの維持</li> <li>・教育改善のための各種競争的資金についての情報収集と学内への情報提供・申請手続きの支援・事務</li> <li>・情報公開と点検評価</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>運営委員会の下に目的毎に作業委員会(WG)をおき、WGは運営委員会で決定されたミッションステートメントにしたがって、その任務を遂行し、活動状況について運営委員会に報告する形で実施する。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

6月29日（木） 15：10～16：40 寝屋川キャンパス：J610 四條畷キャンパス：2-110（Live視聴）

“学内教育実践事例報告①”

2016年度D予算事業「OECU教育モデル開発」結果について”

報告者：齊藤 安貴子 氏（環境科学科教授）  
富岡 明宏 氏（電気電子工学科教授）  
魚井 宏高 氏（総合情報学部長）

参加者：90名

8月2日（水） 10：00～17：30 寝屋川キャンパス：J610

“「授業の基本」研修会 -授業の基本と授業づくり-”

講師：倉茂 好匡氏（滋賀県立大学 理事・副学長）

参加者：23名

10月12日（木） 15：40～17：00 寝屋川キャンパス：J610 四條畷キャンパス：2-110（Live視聴）

“学内教育実践事例報告②”

大阪電気通信大学 キャリア教育WGより報告”

報告者：不破 信勝 氏（就職部次長）  
齊尾 恭子 氏（教育開発推進センター特任准教授）

参加者：67名

10月18日（水） 16：50～18：20 寝屋川キャンパス：J610 四條畷キャンパス：2-110（Live視聴）

“化学物質の”総合的”安全適正管理に向けて”

講師：木下 知己氏（NPO法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク理事長）

参加者：18名

12月14日（木） 15：10～16：40 寝屋川キャンパス：J610 四條畷キャンパス：2-110（Live視聴）

“若者の自殺予防に向けて～学校における自殺予防～ 教職員対象ゲートキーパー研修”

講師：丹波 篤 氏（近畿大学付属病院精神神経科 臨床心理士）  
和田 照平 氏（近畿大学付属病院メンタルヘルス科 精神保健福祉士）

参加者：81名

2月22日（木） 14：30～16：30 寝屋川キャンパス：J610 四條畷キャンパス：2-110（Live視聴）

“学内教育実践事例報告③大阪電気通信大学リメディアル教育実践紹介”

報告者：各学科担当教員

参加者：75名

2月27日（火） 13：30～17：00 寝屋川キャンパス：J610

“英語科目担当教員連絡会および英語教育FD研修会”

講師：中内 啓太 氏（英語教育研究センター非常勤講師）  
杉村 寛子 氏（英語教育研究センター教授）

参加者：7名

4月2日（月） 14：00～14：50

“新任教員対象FD”

講師：大石 利光 氏（大阪電気通信大学 理事長・学長）  
森 幸治 氏（大阪電気通信大学 副学長）

参加者：18名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修会、ならびに学科会議等で大学教員としての教育法、学生への対応の仕方などをディスカッション方式で実施した。また、学生からの授業評価へのフィードバックとして、授業期間内に「授業改善プラン」を教員自らが記述し公開することで、受講学生に対しフィードバックをかけるとともに学生との双方向授業を展開し、授業改善の取組の1つとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・実施有。 前期・後期の授業終了時期

b 教員や学生への公開状況、方法等

・ポータルサイトで開示

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・別紙のとおり

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成30年9月30日 公表（予定）

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成32年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月 1日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

(別紙)

**[達成状況に関する総合評価・所見]**

2018年度に第1期生112名を受け入れた。入学直後には3時間程度のカリキュラムガイダンスを実施し、学科の人材育成法と学生各位のキャリア設計についての理解を深めた。さらに、履修登録時には個別相談も行った。

1年次の必修科目としては「ゲーム学」「ゲームの心理学」「大学とその学び」を前期に開講しており、大学生としての学びの手法やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の基本、ゲーム分野での基礎知識、さらにはゲームをする人の心理についての教授を行っている最中である。

本学では専任教員をグループ担任とし、学生を10名程度のグループに分割してグループ毎に入学時より、集団での面談や個別面談を行うこととしており、5月以降に個別面談を行う予定で、学生と教員間でのコミュニケーションの活性化を図っている。

アンケート結果や初回履修登録での登録情報を精査したところ、ゲーム制作の基礎を学びつつもアニメーションや、配信などの「ゲームを広く伝える」方向性の科目を履修する学生が多く、「映像・映画概論」や「言葉のデッサン」といった芸術や文化方面にも少なからず受講生がいることから、学科の目的である「ゲームを拓げる」方向での人材育成の方針に、学生の多くが理解を示していることがわかった。

以上のように、カリキュラムおよび人材育成の達成状況は良好であると評価できる。

以上

(添付資料①)

○教育開発推進センター規則

平成20年7月8日

制定

最近改正 平成30年1月9日

第1条 この規則は、大阪電気通信大学学則第44条の3第5項の規定に基づき教育開発推進センター(以下「センター」という。)の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

第2条 センターは、本学における教育力の向上を目的として、別に定める教育開発推進センターミッションステートメント(以下「ミッションステートメント」という。)に即して業務を行い、その活動を定期的に点検評価する。

第3条 センターにセンター長をおく。

2 センター長は、学長が推薦し、運営会議の議を経て、学長が任命する。

3 任期は2年とし、1回の再任を妨げない。

第4条 センターに教育開発推進センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)をおき、教育開発推進センターの業務全般に関わる事項を審議する。

2 運営委員会は、以下の各号をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 教育開発推進センター長
- (4) 各学部長
- (5) 共通教育機構長
- (6) 教務部長
- (7) 本学職員の中から学長が任命した若干名

3 運営委員会の業務は、以下のとおりとする。

- (1) 決定事項のうち、大学として実施すべき重要事項について、学長の承認を経て実施に移す。
- (2) 前号に定める以外の決定事項や報告事項について、運営会議に報告する。
- (3) 大学でのミッションステートメントの実施状況について適宜監査し、進行を促進する。

第5条 センター内に推進部会(以下「部会」という。)をおく。

2 部会内に目的ごとに作業委員会(以下「WG」という。)をおくことができる。

3 部会は、センター長が招集して議長となる。

4 部会委員は、センター長の推薦に基づき、学長が任命する。

第6条 部会及びWGは、運営委員会で決定されたミッションステートメントにしたがってその任務を遂行し、活動状況について運営委員会に報告し、重要な決定事項は運営委員会に諮る。

2 部会及びWGの活動は、運営委員会においてミッションステートメントに照らして点検評価する。

第7条 この規則の改廃は、教授会での意見を参酌し、運営会議の審議を経て学長が理事長に上程し、常任理事会での審議を経て理事長が決裁する。

附 則

1 この規則は、平成20年7月8日より施行する。

2 教育研究センター規則(平成8年4月1日制定)は、廃止する。

附 則

この規則は、平成22年10月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成25年11月12日より施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成30年4月1日より施行する。

(添付資料②)

## 教育開発推進センターミッションステートメント

2010-07-29

教育開発推進センターは以下のことをお約束します。

1. 教育開発推進センター規則にのっとり当センターは活動します。
2. 当センターは、本学における教育力の向上を目的として、以下の諸活動を責任をもって行います。
  - (1) a.全学的FD(faculty development), SD(staff development)活動の実施, 推進.  
b.部局ごとのFD, SD活動の支援.
  - (2) 学修時間・教育の成果等に関する情報の収集・分析(IR)
  - (3) 教育改善に関わる先進事例情報の収集と学内への紹介・教育改善に関する研究.
  - (4) 教員情報データベースの維持
  - (5) 教育改善のための各種競争的資金についての情報収集と学内への情報提供・申請手続きの支援・事務
  - (6) 情報公開と点検評価
3. これらの活動を学内の叡智を集めて実施するため、適正規模の委員会を設置し、実効のあがる議論を行い、センター運営に反映する。

具体的にはセンター運営委員会は、学長、教育開発推進センター長、各学部から1名、研究開発推進部から4名以内の計11名以内で構成する。
4. 他大学との連携によるFD, SDにも積極的に参加する。
5. 本学の優れた実践を学外にも積極的に情報発信する。
6. センター関係者は上記諸活動を誠実に最善の努力を払って行う。

### 附 則

このミッションステートメントは、平成22年7月29日から施行する。

### 附 則

このミッションステートメントは、平成25年9月6日から施行する。